



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 近鉄百貨店

コード番号 8244 URL <http://www.d-kintetsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 飯田 圭児

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 福田 正男

TEL 06-6634-7265

四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	133,845	1.1	395	△59.8	171	△69.6	△1,112	—
25年2月期第2四半期	132,423	△6.3	983	△6.5	564	△29.2	737	—

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 △938百万円 (—%) 25年2月期第2四半期 711百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	△2.76	—
25年2月期第2四半期	1.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	143,851	26,765	18.5
25年2月期	136,952	27,738	20.2

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 26,672百万円 25年2月期 27,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 平成26年2月期の期末配当予想は未定としております。

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	283,000	4.5	4,000	14.4	3,000	11.1	1,900	△26.1	4.71

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期2Q	404,379,406 株	25年2月期	404,379,406 株
26年2月期2Q	607,935 株	25年2月期	605,877 株
26年2月期2Q	403,772,763 株	25年2月期2Q	403,775,357 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、平成25年4月10日に公表しました平成26年2月期の通期連結業績予想を修正しております。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(参考)

平成26年2月期の個別業績予想 (平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	263,000	5.2	2,800	37.4	2,300	4.6	5.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 有

※ 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、平成25年4月10日に公表しました平成26年2月期の通期個別業績予想を修正しております。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) セグメント情報等	12
売上高比較表	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日）のわが国経済は、政府・日銀一体となった財政・金融政策等により円安・株高が進行し、企業収益や個人消費が改善に向かうなど、景気は持ち直しの動きを強めました。

百貨店業界におきましては、株価上昇に伴う資産効果や景気回復への期待を背景に高額品の売行きが好調となり、売上高は3月、5月、6月及び8月に前年実績を上回るなど堅調に推移いたしました。百貨店の出店・増床が相次いだ大阪地区では、引き続き厳しい競争が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、大阪の新しいランドマークとなる超高層複合ビル「あべのハルカス」が来春グランドオープンするのに先立ち、本年6月13日、地下2階から地上14階に「あべのハルカス近鉄本店タワー館」を先行オープンし、阿倍野店の増床を果たしました。また、併せて既存の各事業についても、それぞれの事業戦略に基づき、収益力向上に懸命の努力を払いました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①百貨店業

百貨店業におきましては、「モノ・コト・ヒトとの出会いが暮らしを彩る『街のような場』」をストアコンセプトに「あべのハルカス近鉄本店タワー館」をオープンし、より広域から幅広い年齢のお客様にお越しいただいたため、開業から第2四半期連結会計期間末までの本店の来店客数は前年同期に比較して89.3%の増加となりました。しかしながら、来春の全館グランドオープンに向けた、既存の阿倍野店「あべのハルカス近鉄本店ウイング館」の全館改装工事に伴い、ウイング館の仮設店舗やエスカレーター・エレベーターの部分稼働等でお客様の買回りに想定以上のご不便をおかけしたこともあり、売上高は目標を下回る前年同期比22.9%の増加（賃貸テナントの売上高を取り込んだ取扱高ベースでは同35.1%の増加）に止まりました。

一方既存店においては、奈良店、四日市店など地域中核店の大規模改装を実施するとともに、専門店ビル事業の強化を図るため、H o o p や近鉄パッセ（名古屋店）に人気のブランドを集積し、さらなる魅力向上に努めました。

これらの諸施策を鋭意実施いたしました結果、売上高は123,473百万円（前年同期比1.6%増）となりましたが、あべのハルカス近鉄本店タワー館の開業に伴う初期費用の増加もあり、営業利益は148百万円（同75.7%減）となりました。

②卸・小売業

卸・小売業におきましては、株式会社シュテルン近鉄で輸入新車の販売台数が増加したため、売上高は5,123百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益は40百万円（同20.0%増）となりました。

③その他事業

その他事業におきましては、第1四半期連結会計期間末でメディ総合管理株式会社及び株式会社くらし科学研究所が連結の範囲から外れたことなどにより、売上高は5,249百万円（前年同期比15.8%減）となりましたが、株式会社近創においてホテルの客室改装やサービスエリア内店舗の改装など大口工事の引渡しがあったことなどにより、営業利益は255百万円（同23.3%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は133,845百万円（前年同期比1.1%増）となりましたが、営業利益は395百万円（同59.8%減）、経常利益は171百万円（同69.6%減）となりました。これに投資有価証券売却益などの特別利益85百万円と、減損損失などの特別損失1,276百万円並びに法人税等を加減した結果、四半期純損失は1,112百万円（前年同期は737百万円の四半期純利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、あべのハルカス近鉄本店の建築設備工事に伴い有形固定資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末より6,898百万円増加し143,851百万円となりました。負債は、設備投資等に伴い未払金が増加したほか、あべのハルカス近鉄本店タワー館開業に伴い買掛金や預り金が増加したことなどにより、前連結会計年度末より7,871百万円増加し117,085百万円となりました。純資産は、四半期純損失の計上などにより、前連結会計年度末より972百万円減少し26,765百万円となり、この結果、自己資本比率は18.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比し601百万円増加し3,515百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純損失となりましたが、減価償却による増加に加え、特別損失の大半が減損損失など実際の現金支出を伴わないものであったほか、たな卸資産の減少、仕入債務の増加などもあり、9,300百万円の収入（前年同期は343百万円の支出）となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、主にあべのハルカス近鉄本店に係る設備投資により9,000百万円の支出（前年同期は769百万円の支出）となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、主に借入金の増加により300百万円の収入（前年同期は570百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期（平成25年3月1日から平成26年2月28日）の連結及び個別の業績予想につきましては、第2四半期累計期間までの実績並びに本年10月10日にウイング館をリニューアルオープンするあべのハルカス近鉄本店の売上予想等を踏まえ、以下のとおり変更いたします。

なお、当期純利益につきましては、特別利益の計上により、連結は当期予想からの変更がなく、個別は増加すると見込んでおります。

定例的な会計処理として、商品券等につきましては、時効処理済分の回収見込額を商品券等引換損失引当金繰入額として営業外費用に、未請求分の時効整理額を未請求債務整理益として営業外収益にそれぞれ計上を見込んでおります。

また、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

平成26年2月期の通期連結業績予想数値の修正（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	290,000	4,600	3,400	1,900	4.71
今回修正予想（B）	283,000	4,000	3,000	1,900	4.71
増減額（B－A）	△7,000	△600	△400	0	
増減率（％）	△2.4	△13.0	△11.8	0.0	
（ご参考） 前期実績（平成25年2月期）	270,744	3,497	2,701	2,570	6.37

平成26年2月期の通期個別業績予想数値の修正（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	268,000	3,200	1,700	4.21
今回修正予想（B）	263,000	2,800	2,300	5.70
増減額（B－A）	△5,000	△400	600	
増減率（％）	△1.9	△12.5	35.3	
（ご参考） 前期実績（平成25年2月期）	249,885	2,038	2,198	5.44

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,914	3,515
受取手形及び売掛金	9,292	9,349
商品及び製品	11,674	9,809
仕掛品	471	351
原材料及び貯蔵品	52	48
その他	6,510	7,378
貸倒引当金	△27	△160
流動資産合計	30,886	30,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	44,697	54,451
土地	31,523	30,651
その他（純額）	5,407	4,416
有形固定資産合計	81,628	89,519
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	7,011	6,975
敷金及び保証金	10,332	9,973
前払年金費用	1,382	1,383
その他	4,709	4,494
貸倒引当金	△629	△617
投資その他の資産合計	22,806	22,209
固定資産合計	106,066	113,558
資産合計	136,952	143,851

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,302	22,163
短期借入金	25,743	13,256
未払法人税等	227	226
商品券	10,646	10,869
預り金	27,553	29,545
商品券等引換損失引当金	4,327	4,351
建物等除却損失引当金	1,275	1,202
賞与引当金	153	70
関係会社整理損失引当金	140	—
その他	5,885	8,894
流動負債合計	96,256	90,580
固定負債		
長期借入金	8,395	21,253
退職給付引当金	335	347
資産除去債務	220	222
その他	4,005	4,680
固定負債合計	12,957	26,504
負債合計	109,214	117,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	9,097	9,097
利益剰余金	3,573	2,461
自己株式	△81	△82
株主資本合計	27,589	26,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62	196
繰延ヘッジ損益	—	△0
その他の包括利益累計額合計	62	196
少数株主持分	86	93
純資産合計	27,738	26,765
負債純資産合計	136,952	143,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	132,423	133,845
売上原価	101,387	102,301
売上総利益	31,036	31,544
販売費及び一般管理費	30,052	31,149
営業利益	983	395
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	46	45
持分法による投資利益	10	—
未請求債務整理益	603	707
その他	275	291
営業外収益合計	940	1,048
営業外費用		
支払利息	239	181
商品券等引換損失引当金繰入額	614	710
持分法による投資損失	—	37
その他	505	342
営業外費用合計	1,359	1,272
経常利益	564	171
特別利益		
投資有価証券売却益	—	60
関係会社株式売却益	—	24
固定資産売却益	182	—
特別利益合計	182	85
特別損失		
減損損失	—	1,129
固定資産除却損等	—	147
投資有価証券評価損	181	—
関係会社整理損失引当金繰入額	100	—
固定資産売却損	31	—
関係会社株式売却損	5	—
特別損失合計	317	1,276
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	429	△1,020
法人税、住民税及び事業税	67	214
法人税等調整額	△412	△162
法人税等合計	△344	51
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	773	△1,072
少数株主利益	36	40
四半期純利益又は四半期純損失(△)	737	△1,112

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	773	△1,072
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62	133
繰延ヘッジ損益	—	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△62	133
四半期包括利益	711	△938
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	675	△979
少数株主に係る四半期包括利益	36	40

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	429	△1,020
減価償却費	3,351	3,611
減損損失	—	1,129
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△32	△14
賞与引当金の増減額(△は減少)	10	50
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12	13
商品券等引換損失引当金の増減額(△は減少)	△67	24
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	63	—
建物等除却損失引当金の増減額(△は減少)	—	△73
前払年金費用の増減額(△は増加)	14	△0
受取利息及び受取配当金	△51	△49
支払利息	239	181
持分法による投資損益(△は益)	△10	37
固定資産売却損益(△は益)	△150	—
固定資産除却損等	217	281
投資有価証券評価損益(△は益)	181	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△60
関係会社株式売却損益(△は益)	5	△24
売上債権の増減額(△は増加)	631	△859
たな卸資産の増減額(△は増加)	670	2,033
仕入債務の増減額(△は減少)	△410	2,098
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△849	3,600
その他	△241	△759
小計	4,013	10,198
利息及び配当金の受取額	51	49
利息の支払額	△288	△205
確定拠出年金移行に伴う未払金の支払額	△2,657	△592
特別退職金の支払額	△1,171	—
経営構造改革費用の支払額	△131	—
法人税等の支払額	△159	△149
営業活動によるキャッシュ・フロー	△343	9,300

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	—	9
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,907	△10,282
有形及び無形固定資産の売却による収入	732	302
有形固定資産の除却による支出	—	△99
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	—	198
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	91	328
短期貸付金の増減額 (△は増加)	570	128
長期貸付金の回収による収入	55	28
敷金及び保証金の差入による支出	△1	△0
敷金及び保証金の回収による収入	566	490
その他	126	△101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△769	△9,000
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,145	△5,909
長期借入れによる収入	5,216	14,600
長期借入金の返済による支出	△5,764	△8,319
その他	△27	△69
財務活動によるキャッシュ・フロー	570	300
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△541	601
現金及び現金同等物の期首残高	3,440	2,914
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,898	3,515

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	百貨店業	卸・小売業	その他事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	123,473	5,123	5,249	133,845	—	133,845
セグメント間の内部売上高 又は振替高	61	1,688	4,195	5,945	△5,945	—
計	123,534	6,811	9,444	139,791	△5,945	133,845
セグメント利益	148	40	255	444	△49	395

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「百貨店業」セグメントにおいて、減損損失1,129百万円を計上しております。

売上高比較表

(個別)

1. 店別売上高

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)		当第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)		
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減率
		%		%	%
あべのハルカス近鉄本店 (Hoop等を含む)	40,207	33.2	43,278	34.8	7.6
上本町店	13,221	10.9	13,044	10.6	△1.3
東大阪店	1,851	1.5	1,848	1.5	△0.2
奈良店	13,046	10.7	12,962	10.5	△0.6
橿原店	9,761	8.0	9,542	7.8	△2.2
生駒店	5,162	4.2	5,041	4.1	△2.3
和歌山店	11,353	9.3	11,183	9.1	△1.5
桃山店	4,103	3.4	3,932	3.2	△4.2
草津店	5,937	4.9	6,055	4.9	2.0
四日市店	11,169	9.2	11,125	9.0	△0.4
名古屋店	5,766	4.7	5,498	4.5	△4.6
合計	121,580	100.0	123,514	100.0	1.6

(注) 阿倍野店は、平成25年6月13日より「あべのハルカス近鉄本店」に店舗名を変更しております。

2. 商品別売上高

(単位：百万円)

		前第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)		当第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)		
		売上高	構成比	売上高	構成比	増減率
			%		%	%
衣料品	紳士服・洋品	4,782	3.9	4,867	3.9	1.8
	婦人服・洋品	26,285	21.6	26,094	21.1	△0.7
	子供服	2,451	2.0	2,473	2.0	0.9
	その他衣料品	4,225	3.5	4,170	3.4	△1.3
	計	37,744	31.0	37,606	30.4	△0.4
	身回用品	11,136	9.2	11,663	9.4	4.7
家庭用品	家具	1,480	1.2	1,557	1.3	5.2
	家庭電器	223	0.2	186	0.2	△16.6
	その他家庭用品	3,210	2.6	3,329	2.6	3.7
	計	4,914	4.0	5,072	4.1	3.2
	食料品	41,465	34.1	41,897	33.9	1.0
	食堂喫茶	4,338	3.6	3,642	2.9	△16.0
雑貨	雑貨	13,235	10.9	13,942	11.3	5.3
	薬品化粧品	4,993	4.1	5,212	4.2	4.4
	計	18,229	15.0	19,154	15.5	5.1
	サービス	684	0.6	633	0.5	△7.5
	その他	3,067	2.5	3,844	3.3	25.3
	合計	121,580	100.0	123,514	100.0	1.6